marantz®

Model CD5400 取扱説明書

CD Player

CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書を良くお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

目　次

1. 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

警 告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から 10cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

安全上のご注意

警告

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

● この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

● この機器を使用できるのは、日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

● この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

- この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- この機器を押し入れ、専用ラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。

● 電源コードの上に重いものをのせたり,コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● この機器のディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

分解禁止

● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子⊕とマイナス端子⊖の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

安全上のご注意

- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 本機の電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示プラスｻとマイナス痰ｧ向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。
- 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

- ５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

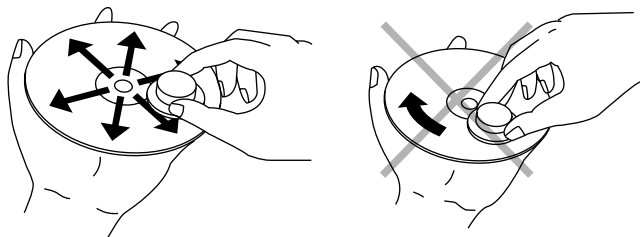
- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

2. ご使用の前に

■ディスクの取扱いかた

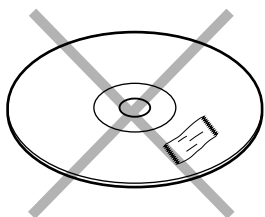
★ ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

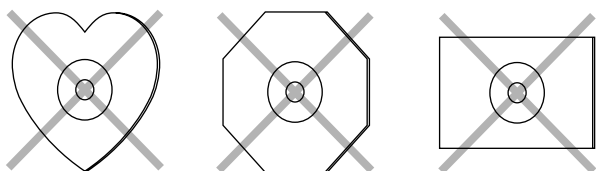
★ ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。

● 放射状方向にふいてください。

● 円周方向には、ふかないでください。

★ ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

★ 特殊な形のディスクは使用しないでください。

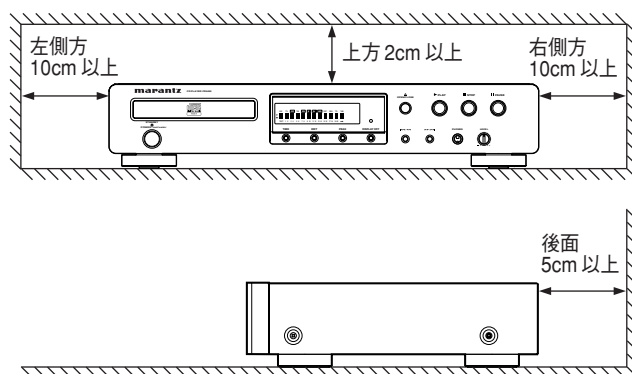
ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。

★ ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

★ ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。

■次のような場所には置かない

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器が近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- アンプ等の発熱の多いものの上
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所
  放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。

■ 上に物をのせない

● 本機の上に物をのせないでください。

■ ご使用いただく電源電圧・周波数

● 電源電圧は、交流（AC）100V をご使用ください。
● 電源周波数は、50Hz 地域、60Hz 地域のどちらでも使用できます。

■ 電源コードの取扱いかた

● 濡れた手で触れないでください。
● 電源コードは、かならずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱったり、折り曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。
● お出かけの前には、かならずプラグを抜く習慣をつけましょう。

■ セット内部の修理

● 注油しますと故障の原因になりますのでさけてください。
● 専門知識を持つ技術者以外の方は、ピックアップ部分及びセット内部の修理は行わないでください。

■ 使用上の注意

● 冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。CD プレーヤーは、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。
  ・暖房開始直後の部屋
  ・湿気が多い部屋
  ・寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだとき
  このようなときは、曲数の読み込みができず、プレーヤーが誤動作することがありますので30分位待ってから使用してください。
● 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
● アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、演奏がはじまるまでノイズは殆ど聴き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。
● 本機は音楽CD専用のプレーヤーです。パソコン用のCD-ROMや、ゲームCD、ビデオCD、DVD（ビデオ／オーディオ）などは再生できません。

■ 乾電池の取扱いかた

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

● 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
● 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
● 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを機器の表示通り正しく入れてください。
● 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
● 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

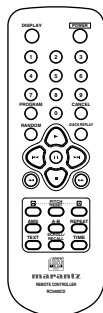
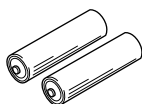
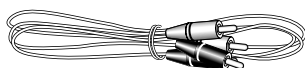
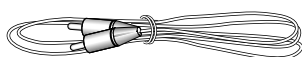
■ コピーコントロールCD（コピーガード付CD）について

コピーコントロールCD（コピーガード付CD）は、現在のCD規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としましては、お客様のCD再生機器による再生の状態を保証致しかねます。
通常CDを用いての再生時には支障なく再生ができ、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましてはお客様のCD再生機器の不具合ではございません。
なお、コピーコントロールCDに関する詳細につきましてはコピーコントロールCDの発売元にお問い合わせ戴きますようお願いいたします。

3. 付属品について

■ 付属品の確認

箱を開けたら下記の付属品が揃っていることをご使用の前にご確認ください。

● リモコン（RC5400CD）

● 単四形乾電池２本

● オーディオ接続コード

● リモート接続コード

● 取扱説明書（本書）
● 保証書

■ リモコンの使用について

● 使用上の注意

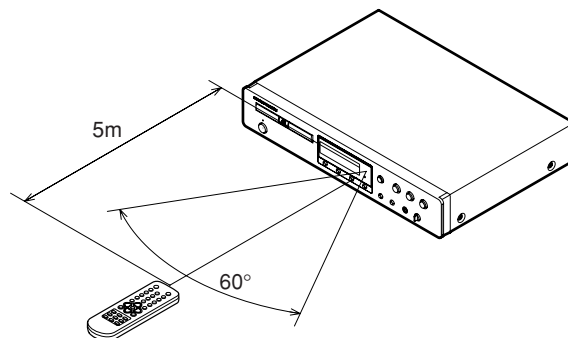
・リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。

・リモコンを操作すると、赤外線で操作する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

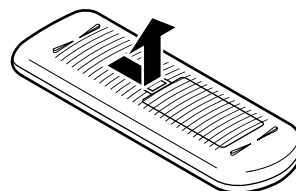
・リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。

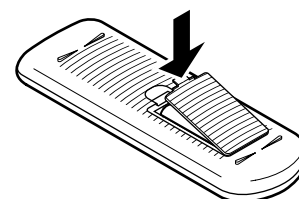
・リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

● リモコンの使用できる範囲

リモコンによる本体の操作可能範囲は下図のように本機の赤外線受光部から約5m、左右60゜以内です。

● リモコンに乾電池を入れる

付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

1 リモコン裏面の電池フタのツマミを矢印の方向につまみ、上に引き上げます。

2 新しい単四形乾電池２本を、極性表示（⊕：プラスと⊖：マイナスの向き）に注意し、表示通りに正しく入れてください。

3 電池フタを矢印の方向へ押して閉めます。

4. 本機の主な特長

● **高性能シーラスロジック社製D/Aコンバーター CS4392を採用**

当社CDプレーヤーCD7300で実績のあるシーラスロジック社製D／AコンバーターCS4396とCD再生回路部が同一設計のCS4392を採用しました。
CD再生時、ディスクに記録されているPCM信号をD/Aコンバーター内部で128fsにオーバー･サンプリングし、ダイナミック･エレメント･マッチング(DEM)とマルチ･エレメント･スイッチド･キャパシターの組み合わせにより、高リニアリティ（直線性）再生を実現します。
最新のCD再生技術により、新次元の高音質CD再生をもたらします。

● **ディスプレイオフ機能搭載**

本体表示部（ディスプレイ）を消灯できる「ディスプレイオフ機能」を搭載しました。
表示部（ディスプレイ）を消灯することにより、表示部（ディスプレイ）から発生するパルス性ノイズを低減し、音楽信号への影響をシャットアウトします。

● **ピッチコントロール機能搭載**

再生スピード（ピッチ）を±12段階の範囲で変えることができる「ピッチコントロール機能」を搭載しました。
楽器練習などにご利用いただけます。

● **クイックリプレイ機能搭載**

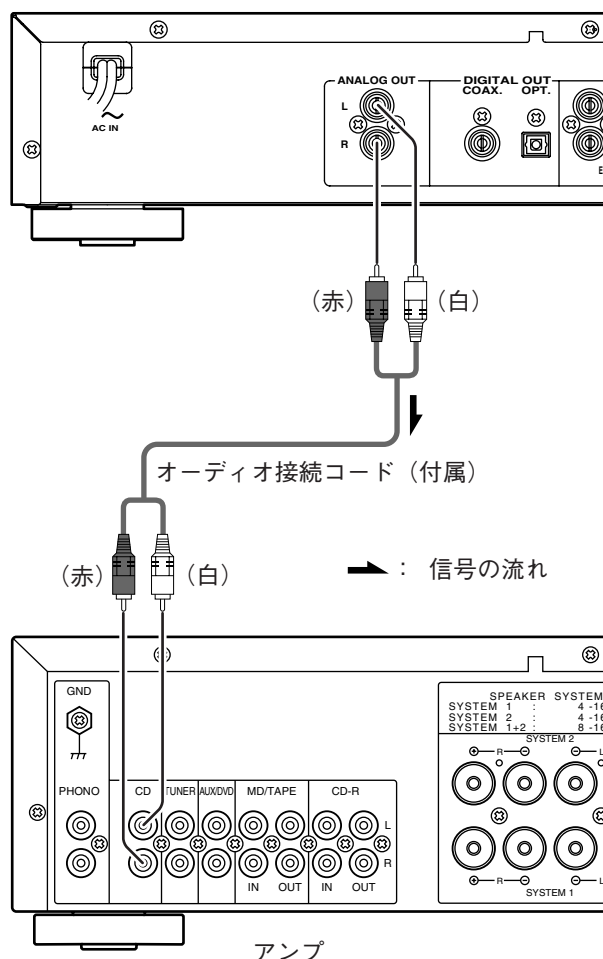
再生中、ワンタッチで10秒だけ前に戻って再生する「クイックリプレイ機能」を搭載しました。
再生中の曲を、少し前に戻して聴き直すことができます。

● **CD-TEXT表示対応**

5. 接続のしかた

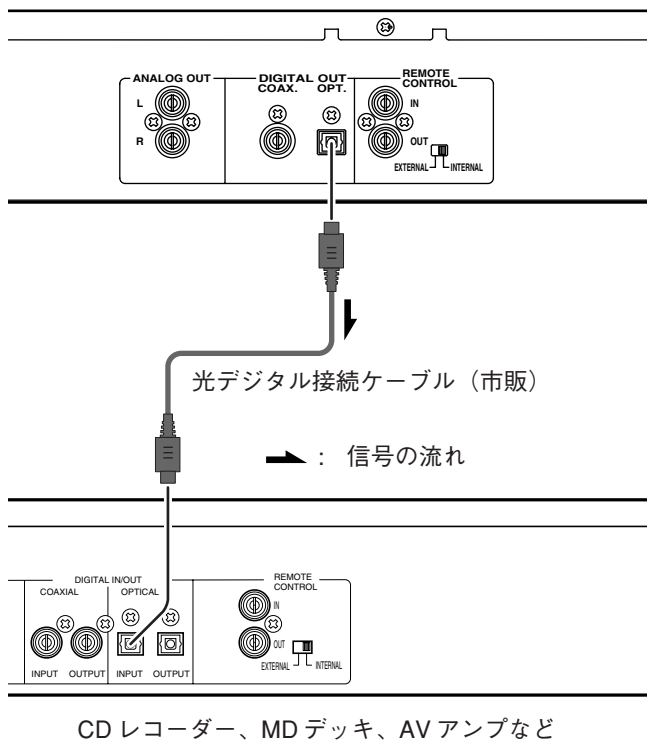
アンプ、CDレコーダーなどと本機を接続します。正しく接続を行なうため、接続する機器の取扱説明書をお読みください。
また、接続するときは各機器の電源を必ず切ってください。

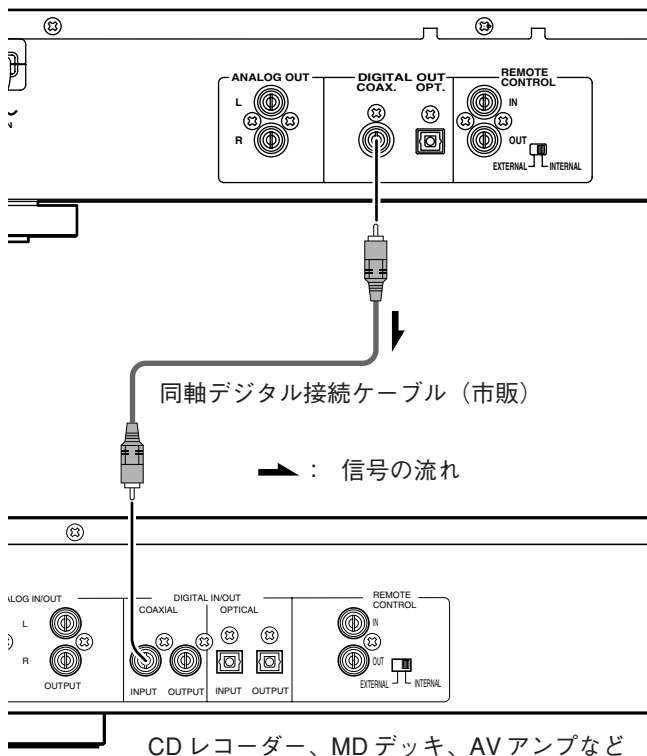
■ アンプとの接続

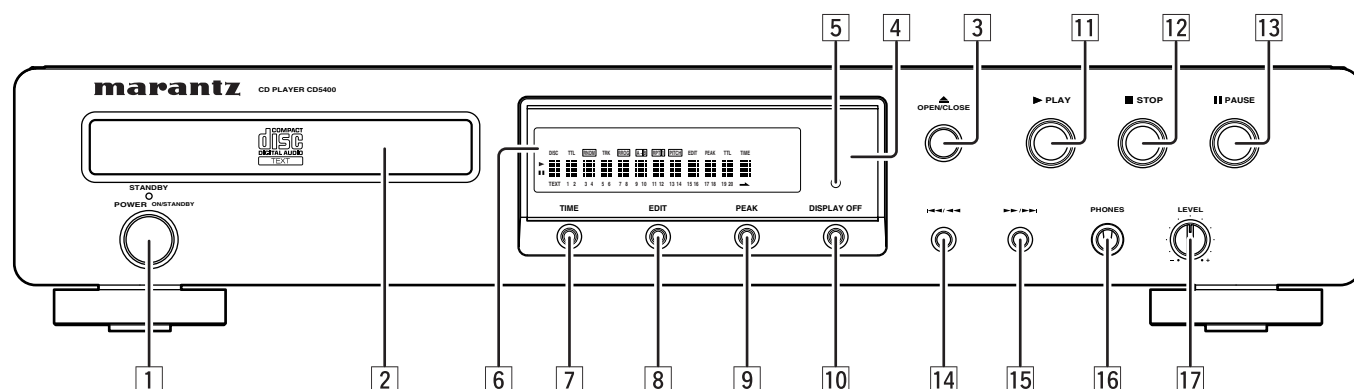
本機をステレオアンプやAVアンプにオーディオ接続コードを使用して接続します。アンプのPHONO入力端子には接続しないでください。
接続するときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因となります。

■ デジタルオーディオ機器との接続

本機はデジタル出力端子をOPTICAL（光）・COAXIAL（同軸）各1系統装備しています。
本機とCDレコーダーなどのデジタル録音機器を接続すると、デジタル録音がお楽しみいただけます。

● OPTICAL（光）出力端子を接続する

市販の光デジタル接続ケーブルを使用します。プラグがカチッと音がするまで確実に差し込んでください。光デジタル接続ケーブルは折り曲げたり、束ねたりしないでください。

● COAXIAL（同軸）出力端子を接続する

市販の同軸デジタル接続ケーブルを使用します。

6. 各部の名称とはたらき

■ 前面

1 POWER ON/STANDBY

電源のON/STANDBY（待機状態）を切替えます。
押すと表示窓が点灯し、電源が入ります。
もう一度押すと待機状態（STANDBY）になりランプが点灯します。

2 ディスクトレイ

CDを入れるところです。

3 OPEN／CLOSE ▲（オープン／クローズ：開／閉）ボタン

ディスクトレイを開閉するボタンです。押すとディスクトレイが開きます。もう一度押すと、ディスクトレイが閉まります。

4 赤外線受光部

リモコンからの赤外線コントロール信号を受光します。

5 DISPLAY OFF（ディスプレイオフ）インジケーター

DISPLAY OFF（表示窓の消灯）のときに点灯します。

6 表示窓

設定状態や再生状況、テキスト情報などを表示します。

7 TIME（タイム）ボタン

メイン表示部をテキスト表示から時間表示に切替えるボタンです。再生中の時間表示を切替えることもできます。トラック内での経過時間、残り時間、ディスク全体での残り時間を表示できます。

8 EDIT（エディット）ボタン

テープに録音する際にテープの長さに合せて曲をA面、B面に振り分けるEDIT機能を使用するときに押します。
頭出し用の曲間を４秒ずつとりながら再生します。

9 PEAK（ピーク）ボタン

CD曲中の最大音量部分（ピーク）を探すときに押します。

10 DISPLAY OFF（ディスプレイオフ）ボタン

表示窓を消灯（DISPLAY OFF）するボタンです。
押すと表示窓が消灯します。もう一度押すと表示窓が点灯します。

11 ▶ PLAY（プレイ：再生）ボタン

再生を始めるときに押します。

12 ■ STOP（ストップ：停止）ボタン

再生を停止するボタンです。

13 II PAUSE（ポーズ：一時停止）ボタン

再生を一時停止するボタンです。

14 I◀◀/◀◀（トラック スキップ／サーチ）ボタン

曲の頭出しをするときに押します。1度押すと再生中の曲の頭に戻り、押した回数だけ前の曲に戻ります。再生中に押し続けると早戻しします。

15 ▶▶/▶▶I（サーチ／トラック スキップ）ボタン

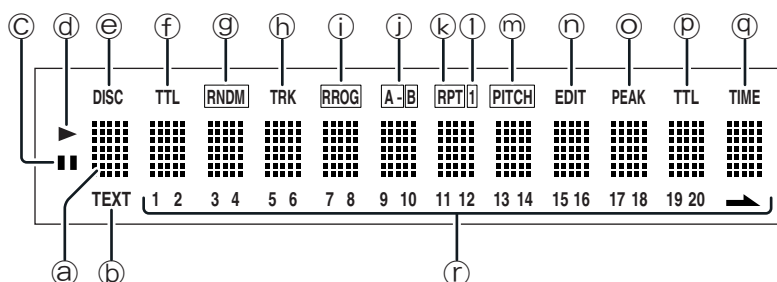
曲の頭出しをするときに押します。押した回数だけ次の曲へスキップします。再生中に押し続けると早送りします。

16 PHONES（ヘッドホン）端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは標準プラグのものをご使用ください。

17 PHONES LEVEL（ヘッドホンレベル）つまみ

ヘッドホンの音量を調整するつまみです。右に回すとヘッドホンの音量が大きくなります。

■ 表示窓

ⓐ **メイン表示部**

再生するディスクの時間情報、文字（テキスト）情報、設定メニューなどを表示します。

ⓑ **TEXT（テキスト）インジケーター**

CD-TEXT 対応ディスクを入れたときに点灯します。

ⓒ **II（ポーズ：一時停止）インジケーター**

ポーズ（一時停止）時に点灯します。

ⓓ **▶（プレイ：再生）インジケーター**

再生時に点灯します。

ⓔ **DISC（ディスク）インジケーター**

ディスクの目次情報「TOC」を読んでいるときに点滅します。

ⓕ **TTL（トータルトラック）インジケーター**

ディスクに記録されている総曲（トラック）数の表示の上に点灯します。

ⓖ **RNDM（ランダム）インジケーター**

ランダム再生時に点灯します。

ⓗ **TRK（トラック）インジケーター**

再生中の曲番（トラックナンバー）などの表示の上に点灯します。

ⓘ **PROG（プログラム）インジケーター**

プログラム再生時に点灯します。

ⓙ **A-B（A-B リピート）インジケーター**

A-B リピート再生時に点灯します。

ⓚ **RPT（リピート）インジケーター**

リピート再生時に点灯します。

ⓛ **1（1 曲リピート）インジケーター**

１曲リピート再生時に点灯します。

ⓜ **PITCH（ピッチコントロール）インジケーター**

ピッチコントロールの設定を表示します。

ⓝ **EDIT（エディット）インジケーター**

エディットモード中に点灯します。

ⓞ **PEAK（ピーク）インジケーター**

ピークサーチ中に点灯します。
曲中のピークサーチを再生中は点滅します。

ⓟ **TTL（トータルタイム）インジケーター**

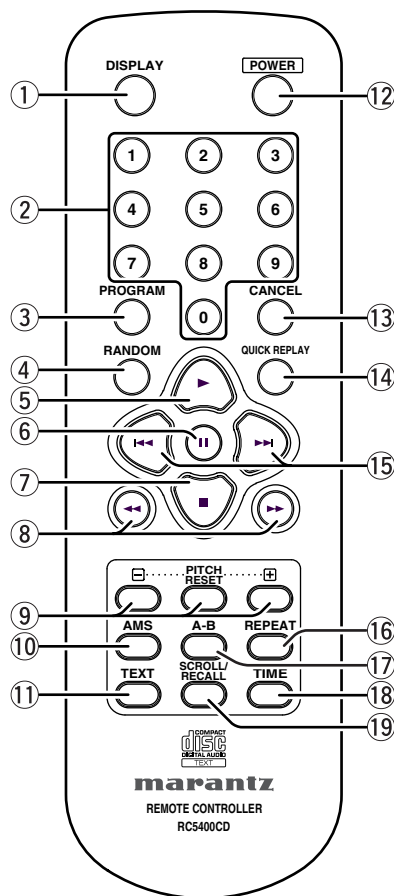
総残り時間や、総プログラム時間を表示するときに、その上に点灯します。

ⓠ **TIME（タイム）インジケーター**

経過時間等の時間を表示しているときに点灯します。

ⓡ **1 ～ 20、▬（ミュージックカレンダー）**

ディスクに記録されている曲番数、再生中の残りの曲番数、プログラム再生でプログラムされた曲番を表示します。

■ リモコン

① DISPLAY（ディスプレイ）ボタン

表示窓を消灯（DISPLAY OFF）するボタンです。

② 数字（0～9）ボタン

再生する曲番（トラックナンバー）を指定するボタンです。

③ PROGRAM（プログラム）ボタン

プログラム再生をするときに押すボタンです。

④ RANDOM（ランダム）ボタン

順不同で曲を再生するボタンです。

⑤ ▶（プレイ：再生）ボタン

再生を開始するボタンです。

⑥ ll（ポーズ：一時停止）ボタン

再生を一時停止するボタンです。

⑦ ■（ストップ：停止）ボタン

再生を停止するボタンです。

⑧ ◀◀、▶▶（サーチ）ボタン

◀◀：再生中、押し続けると早戻しするボタンです。
▶▶：再生中、押し続けると早送りするボタンです。

⑨ PITCH -、RESET、+（ピッチコントロールダウン、リセット、アップ）ボタン

再生スピード（ピッチ）を調整（± 12段階）するボタンです。

⑩ AMS（オートミュージックスキャン）ボタン

1曲目から順番に全曲の各冒頭を設定した時間だけ次々に再生するボタンです。

⑪ TEXT（テキスト）ボタン

メイン表示部を時間表示からテキスト表示に変えるボタンです。

⑫ POWER（パワー）ボタン

電源のONとSTANDBY（待機状態）を切替えます。

⑬ CANCEL（キャンセル）ボタン

プログラムした曲を取り消すボタンです。

⑭ QUICK REPLAY（クイックリプレイ）ボタン

現在再生している位置より設定した 10 秒だけ早戻しし、再生を再開するボタンです。

⑮ I◀◀、▶▶I（トラックスキップ）ボタン

I◀◀：再生中の曲の頭や、前の曲の頭に戻るボタンです。
▶▶I：次の曲の頭に進むボタンです。

⑯ REPEAT（リピート）ボタン

1 曲またはディスクの全曲を繰り返し再生するボタンです。

⑰ A-B（A-B リピート）ボタン

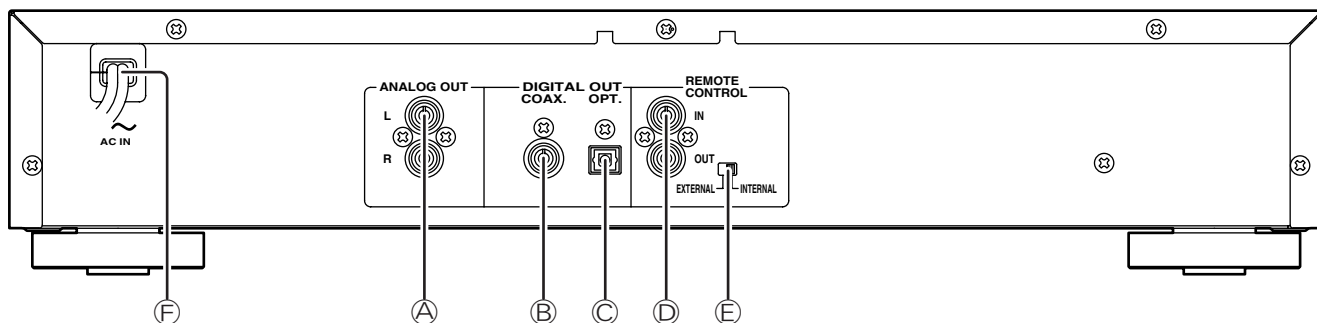
指定した部分を繰り返し再生するときに、開始（A）点と終了（B）点を指定するボタンです。

⑱ TIME（タイム）ボタン

メイン表示部をテキスト表示から時間表示に切替えるボタンです。再生中の時間表示を切替えることもできます。トラック内での経過時間、残り時間、ディスク全体での残り時間を表示できます。

⑲ SCROLL／RECALL（スクロール／リコール）ボタン

テキストを表示しているときに、テキスト表示をスクロールするボタンです。プログラム再生時に押すと、プログラムした曲を確認できます。

■ 後面

Ⓐ ANALOG OUT（アナログ出力）端子

再生中の音楽信号を出力する端子です。

Ⓑ DIGITAL OUT COAX.（COAXIAL）（同軸デジタル出力）端子

再生中の音楽信号をデジタル出力する同軸出力端子です。
※ ピッチコントロール再生中はデジタル信号を出力しません。

Ⓒ DIGITAL OUT OPT.（OPTICAL）（光デジタル出力）端子

再生中の音楽信号をデジタル出力する光出力端子です。
※ ピッチコントロール再生中はデジタル信号を出力しません。

Ⓓ REMOTE CONTROL IN ／ OUT（リモートコントロール入出力）端子

当社製品でリモートコントロール端子を装備した機種と、付属のリモート接続ケーブルで接続する端子です。アンプなどを中心としたシステムコントロールが可能となります。

Ⓔ EXTERNAL ／ INTERNAL（エクスターナル／インターナル）スイッチ

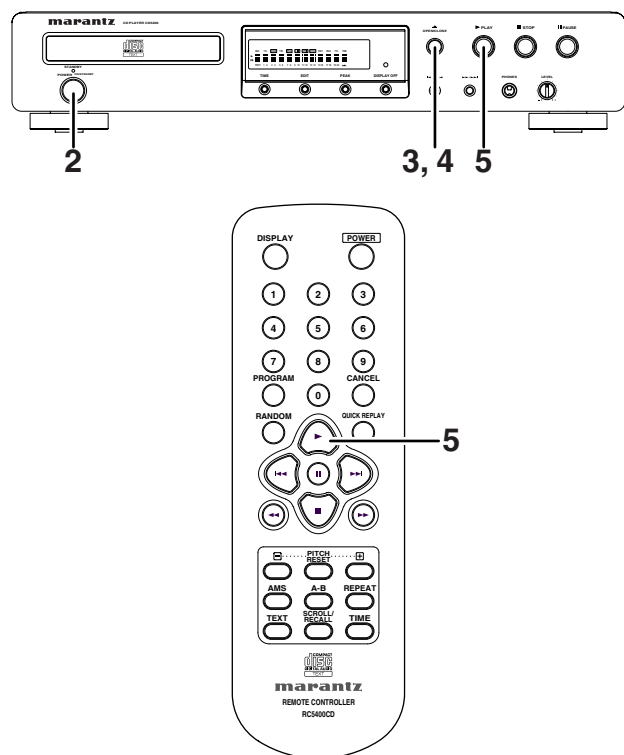
スイッチは出荷時INTERNALに設定されていて、本体に内蔵されているリモコン信号受光部を使用できます。
当社製品と付属の接続ケーブルでリモートコントロール端子に接続する場合は、スイッチをEXTERNALに切り替えて使用します。

ご注意）
本機を単独で使用する場合、スイッチがEXTERNALに設定されていると、リモコンからの信号を受信できなくなります。

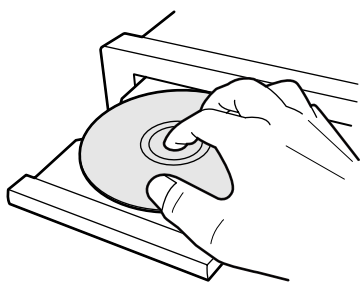
Ⓕ AC 電源ケーブル

ご家庭のACコンセントに接続してください。交流100Vの50Hz地域と60Hz地域でご使用いただけます。

7. 基本的な使いかた

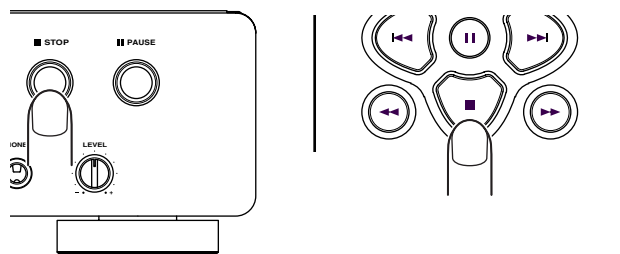
■ CDを再生する

1. 本機を接続したアンプの電源を入れ、アンプの入力切替えでCD（本機の接続した入力ソース）を選びます。

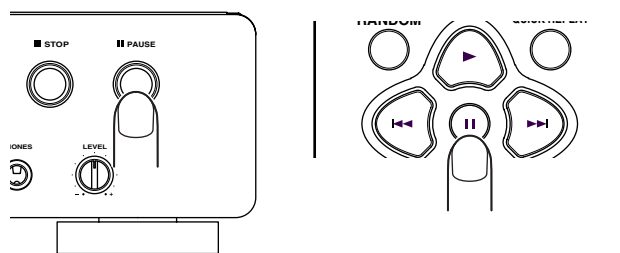
2. 本体のPOWER（パワー）ボタンを押し電源を入れます。

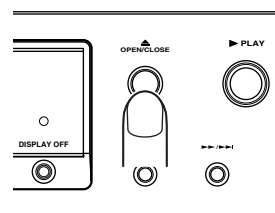
3. 本体のOPEN／CLOSE ▲（オープン／クローズ）ボタンを押します。出てきたディスクトレイに、再生するCDを文字が印刷されているレーベル面を上にしてのせます。

シングル（8cm）CDは、トレイ中央のくぼみに合わせてのせてください。

4. 本体のOPEN／CLOSE ▲（オープン／クローズ）ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。ディスクトレイの前面を軽く押しても閉まります。ディスクトレイが閉まると、表示部に"TOC Reading"と表示した後、CDの総曲数と総残り時間を表示します。
CD-TEXT対応ディスクの場合、アルバムタイトルを表示した後、CDの総曲数と総残り時間を表示します。

5. 本体の ►（プレイ）ボタン、またはリモコンの ►（プレイ）ボタンを押すと再生が始まります。アンプで音量を調整します。

● 再生を止める

再生中に本体またはリモコンの ■ ボタンを押します。

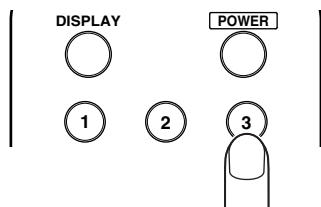
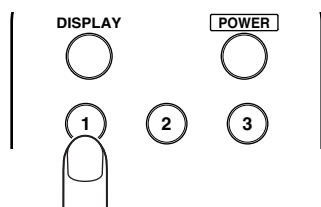
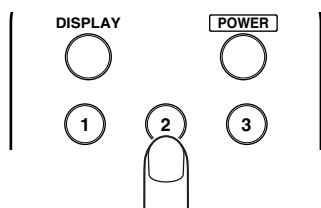
● 再生を一時停止する

再生中に本体の II ボタン、またはリモコンの II ボタンを押すと再生が一時停止します。
もう一度本体の II ボタンを押すか、リモコンの ► ボタンまたは II ボタンを押すと、一時停止した場所から再生を始めます。

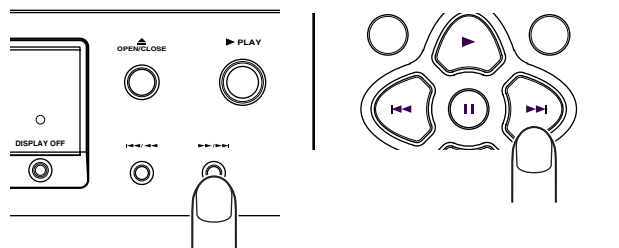
● CDを取り出す

再生を止めたあと、本体のOPEN／CLOSE ▲ボタンを押してディスクトレイを開け、CDを取り出します。
取り出したあとはもう一度OPEN／CLOSE ▲ボタンを押してディスクトレイを閉じます。本機を使わないときはディスクトレイを必ず閉めておいてください。

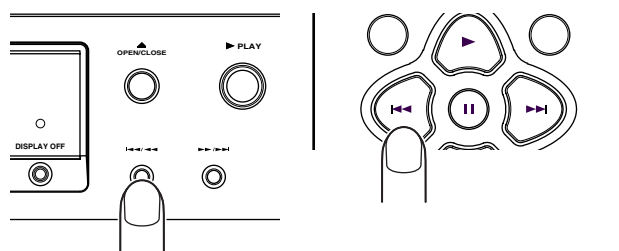
■聴きたい曲（トラック）を再生する

● 曲番を指定して再生する（ダイレクトサーチ）

聴きたい曲番（トラックナンバー）をリモコンの数字ボタン（0～9）を押して、直接選びます。
10曲目以降の曲番を選ぶときは、10の位→1の位という順に数字ボタンを押します。
曲番が選ばれると自動的に再生を始めます。

例：3曲目を再生するとき
数字ボタン"3"を押します。

例：12曲目を再生するとき
数字ボタン"1"を押します。

1秒以内に数字ボタン"2"を押します。

● 前の曲や次の曲を再生する（トラックスキップ）

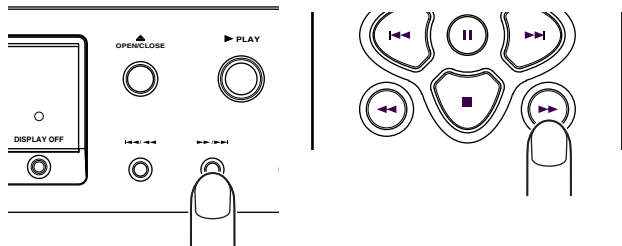
次の曲に進む

進めたい曲数分だけ本体の ▶▶/▶▶| ボタンまたはリモコンの ▶▶| ボタンを押します。

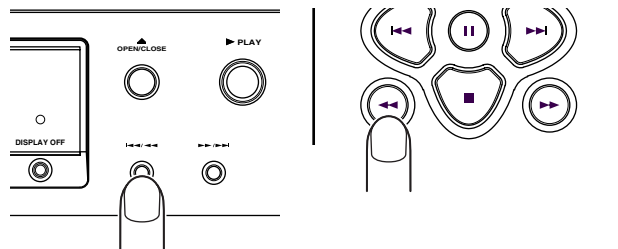
再生中の曲の頭または前の曲に戻る

本体の |◀◀/◀◀ ボタンまたはリモコンの |◀◀ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。さらに続けてボタンを押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。

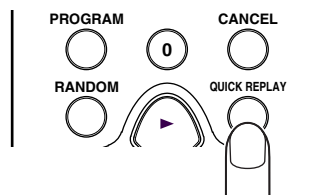
■ 曲の中の聴きたい部分を再生する

● 曲の中の聴きたい部分を探す（サーチ）

曲を再生中、聴きながら早送り／早戻しをして聴きたい部分を探すことができます。

再生中の曲を早送りする

本体の ►►/►►I ボタンまたはリモコンの ►► ボタンを押しつづけるとサーチ（早送り）になります。

再生中の曲を早戻しする

本体の I◄◄/◄◄ ボタンまたはリモコンの ◄◄ ボタンを押しつづけるとサーチ（早戻し）になります。

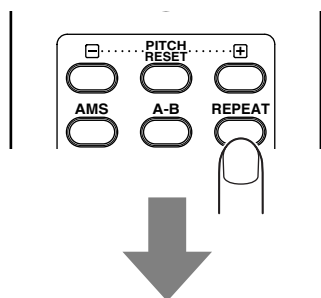
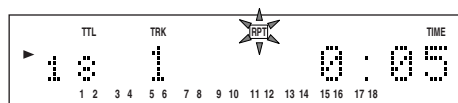
● 再生中に少し前に戻して聴く（クイックリプレイ）

再生中にリモコンのQUICK REPLAYボタンを押すと、10秒だけ戻して聴き直すことができます。

8. 便利な機能の使いかた

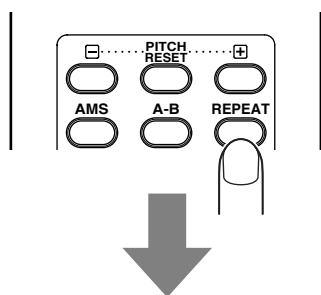
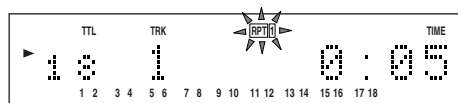
■ 繰り返し聴く（リピート再生）

● 全曲を繰り返し聴く（全曲リピート再生）

全曲を繰り返し再生します。ランダム再生やプログラム再生なども繰り返し再生できます。

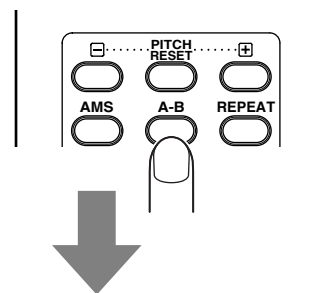
リモコンのREPEATボタンを押します。

表示窓の"RPT"インジケーターが点灯し、全曲を繰り返し再生します。

全曲リピートをやめて通常再生にするときは、リモコンのREPEATボタンを２回押します。表示窓の"RPT"インジケーターが消えます。

● 1曲だけを繰り返し聴く（1曲リピート再生）

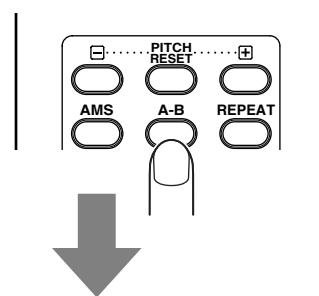
１曲だけを繰り返し再生します。ランダム再生やプログラム再生をしている時も、再生中の曲を繰り返します。
繰り返し聴きたい曲の再生中に、リモコンのREPEATボタンを２回押します。

"RPT"、"1"インジケーターが点灯し、再生中の曲を繰り返します。

１曲リピートをやめて通常再生にするときは、REPEATボタンを押して表示窓の"RPT"インジケーターを消します。

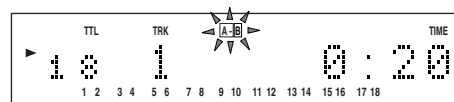
● 指定した部分を繰り返し聴く（A-Bリピート再生）

曲の中で聴きたい部分だけ指定して、繰り返し再生します。

1 再生中、繰り返し聴きたい部分の開始点で、リモコンのA-Bボタンを押します。

表示窓に"A-"インジケーターが点灯します。

▼表示例　A-Bリピート再生　A(開始)点　1曲目　5秒

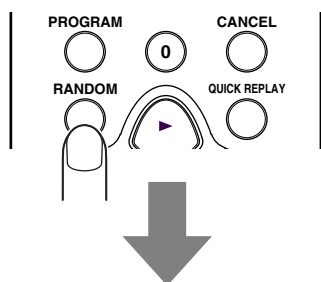
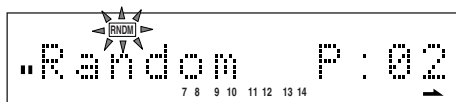
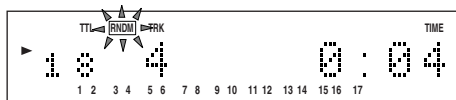
2 繰り返し聴きたい部分の終わりで、リモコンのA-Bボタンを押します。

表示窓に"A-B"インジケーターが点灯し、指定した部分（A点～B点）を繰り返し再生します。

▼表示例　A-Bリピート再生　B(終了)点　1曲目　20秒

A-Bリピートをやめて通常再生にするときは、リモコンのA-Bボタンを押して表示窓の"A-B"インジケーターを消します。

ご注意）
ランダム再生中、A-Bリピート再生はできません。

■順不同で曲を再生する（ランダム再生）

無作為（ランダム）に曲順を並び変えて、順不同で全曲を再生します。リピート再生も合わせて使用すると、毎回違う曲順で再生を繰り返すこともできます。

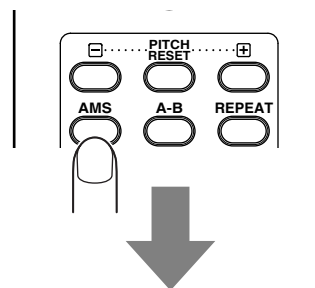
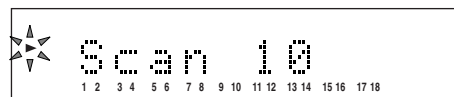
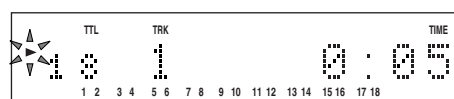
再生中、または停止中にリモコンのRANDOMボタンを押します。

表示窓のミュージックカレンダーが流れるように点灯し、"RNDM" インジケーターが点灯します。

ランダム再生を開始します。

ランダム再生をやめて通常再生にするときは、リモコンのRANDOMボタンを押します。表示窓の"RNDM" インジケーターが消えます。

● ランダム再生中にトラックスキップし、曲の頭出しをする

ランダム再生中に本体の ▶▶/▶▶I ボタンまたはリモコンの▶▶I ボタンを押すと、次の曲を無作為に選び、再生します。ランダム再生中に本体の I◀◀/◀◀ ボタンまたはリモコンのI◀◀ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻って再生します。さらに同じ操作を繰り返すと、前に再生をした曲を順番に逆戻って再生します。

■聴きたい曲を探す（AMS 再生）

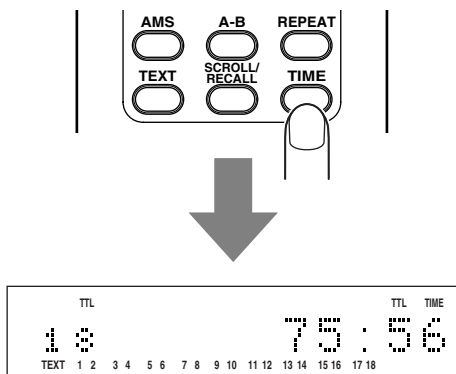
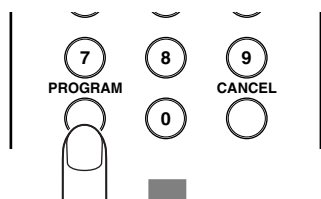
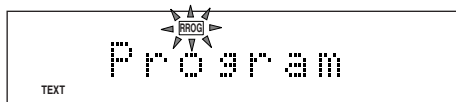
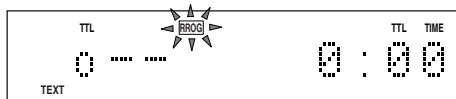
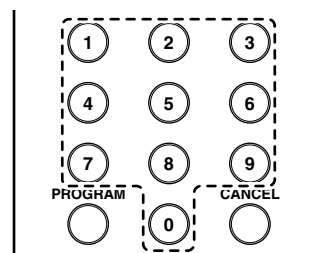
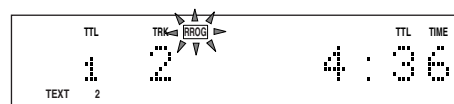
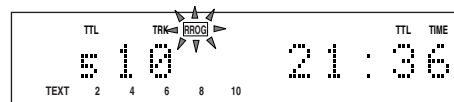
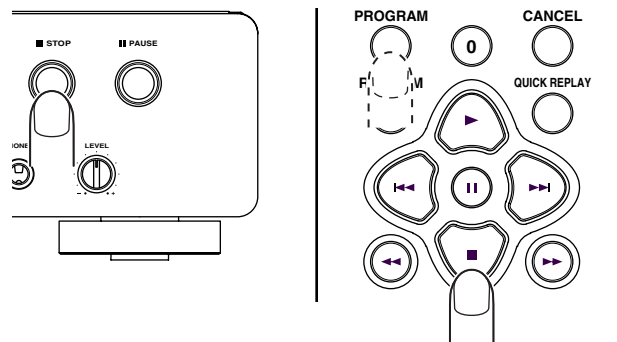
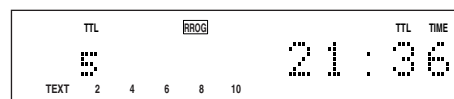
聴きたい曲を探すときに便利な機能です。
再生時間は、10、20、30 秒から選択できます。

停止中または再生中にリモコンのAMS（オートミュージックスキャン）ボタンを押します。

AMS ボタンを繰返し押すとモードが順番に変ります。
"Scan 10"、"Scan 20"、"Scan 30"、"Scan Off"...(Scan Off はスキャンを中止します）
表示窓に "▶" インジケーターが点滅します。

1曲目から順番に全曲の各冒頭を設定した時間（出荷時は10秒）だけ次々に再生します。

聴きたい曲が見つかったらもう一度 ▶ ボタンを押します。"▶" インジケーターが点灯し、その曲以降を通常に再生します。
なお、AMS 再生中にリモコンのRANDOMボタンを押すとAMS 再生は解除され、ランダム再生になります。

■曲を好きな順番で聴く（プログラム再生）

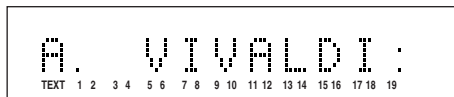
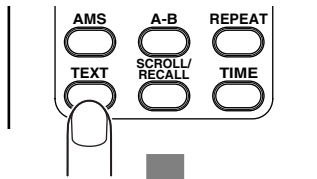
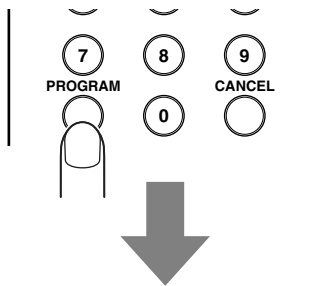
CDの曲を好きな順番に並べ替えて聴くことができます。
最大30曲まで再生する曲をプログラムできます。

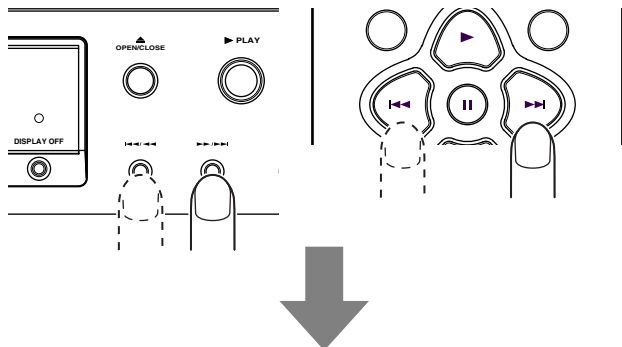
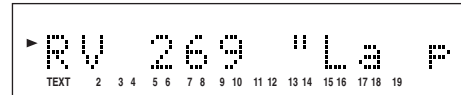
● 時間表示でのプログラム再生

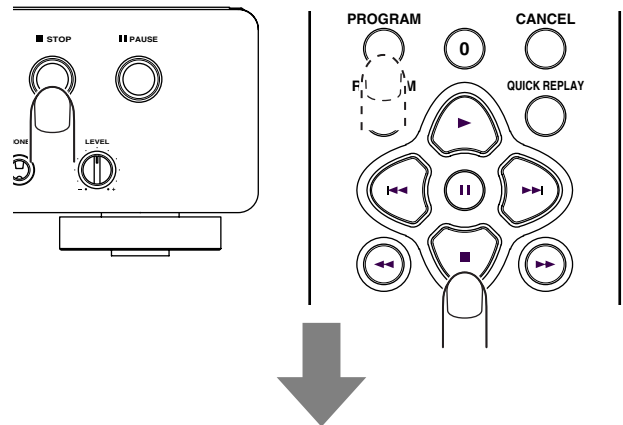
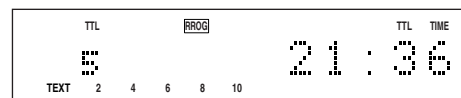
CD-TEXTディスクの場合、まずリモコンのTIMEボタンを押して、時間表示にします。

1 停止中にリモコンのPROGRAMボタンを押します。

メイン表示部に "Program" と一瞬表示します。

PROGインジケーターが点滅し、プログラムモードになります。

2 曲番に合わせてリモコンの数字ボタンを押します（リモコンの⏮ボタンと⏭または本体の⏮/◀◀ボタンと▶▶/⏭ボタンでも選択できます）。10曲目以降の曲番を選ぶときは、10の位、1の位、という順に数字ボタンを押します。

▼表示例　2曲目を選んだとき

3 手順2を繰り返して、聴きたい曲を順番にプログラムします。プログラムするごとに、メイン表示部にプログラムした曲数とその合計時間が表示されます。最大30曲までプログラムできます。

4 全てのプログラムが終わったら、本体やリモコンの■ボタンまたはリモコンのPROGRAMボタンを押します。

PROGインジケーターが点滅から点灯に変り、プログラムが確定します。

5 本体の▶ボタンまたはリモコンの▶ボタンを押します。
プログラムした順番に再生が始まります。
なお、手順4を省略してもプログラム再生を開始します。

● テキスト表示でのプログラム再生

CD-TEXT ディスクの場合、曲名（タイトル）で選んでプログラム再生することができます。

メイン表示部が時間表示になっているときはリモコンのTEXT ボタンを押し、テキスト表示にします。

1 停止中にリモコンのPROGRAM ボタンを押します。

メイン表示部に"Program"と一瞬表示してからPROG インジケーターが点滅し、プログラムモードになります。

2 曲番に合わせてリモコンの⏮ ／ ⏭ボタン、または本体の⏮/◀◀ ／ ▶▶/⏭ボタンで曲を選択します（リモコンの数字ボタンでも選択できますが、その場合は曲名を表示しません）。

選択された曲の曲名（タイトル）がスクロールされ、スクロールが完了すると自動的にプログラムされます。プログラムしない場合は、スクロールが完了する前に他の曲を選びます。

3 手順2を繰り返して、聴きたい曲を順番にプログラムします。 最大30曲までプログラムできます。

4 全てのプログラムが終わったら、リモコンや本体の■ボタンまたはリモコンのPROGRAM ボタンを押します。

PROG インジケーターが点滅から点灯に変り、プログラムが確定します。

5 本体の▶ ボタンまたはリモコンの▶ ボタンを押します。
プログラムした順番に再生が始まります。
なお、手順４を省略してもプログラム再生ができます。

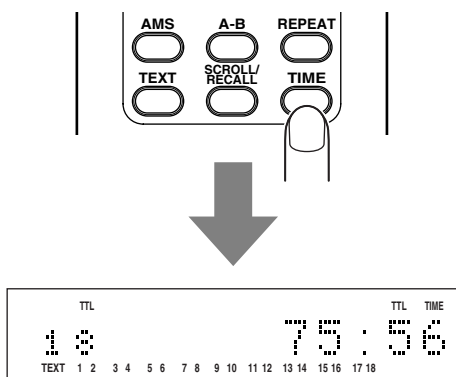
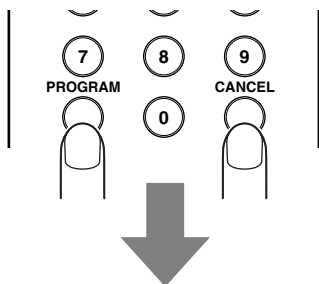
ご注意）

※ **曲名（タイトル）のテキスト情報がない曲ではテキスト表示でのプログラムはできません。**

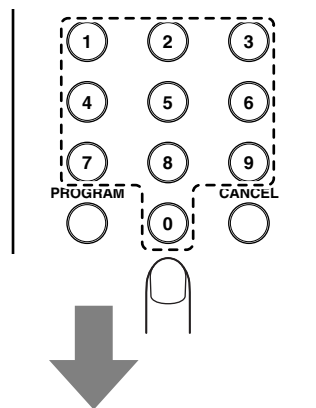
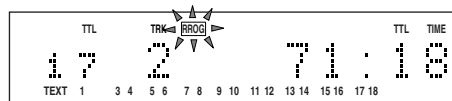
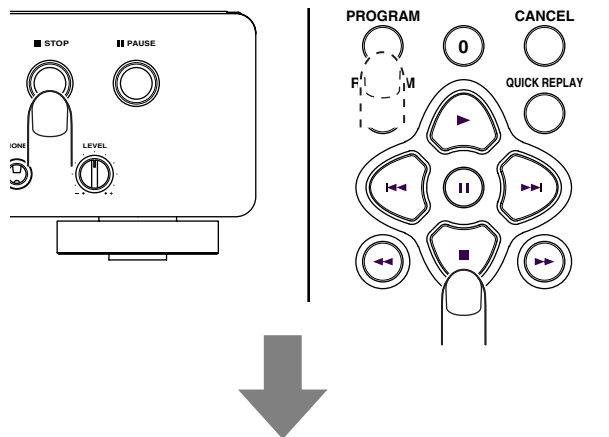
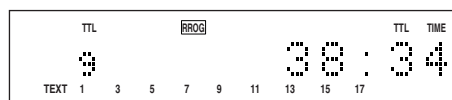
■ 聴かない曲をとばして再生する（デリートプログラム再生）

聴かない曲をとばして再生することができます。最大30曲まで再生する曲をプログラムから削除することができます。

● 時間表示でのデリートプログラム再生

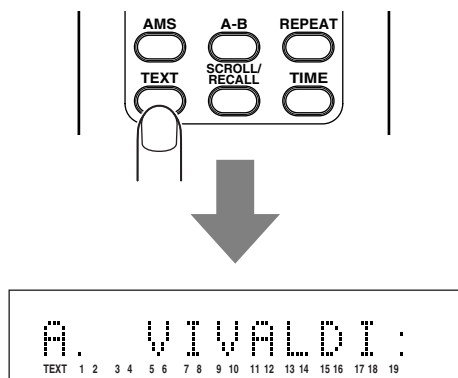
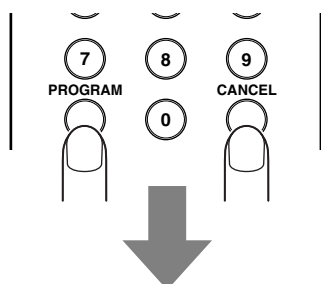
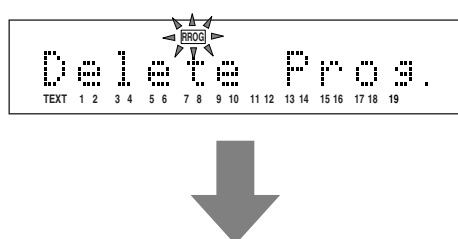
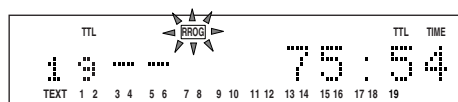
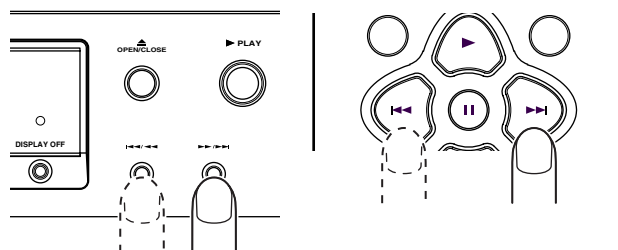
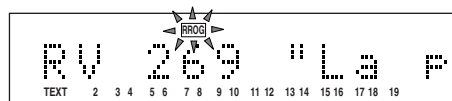
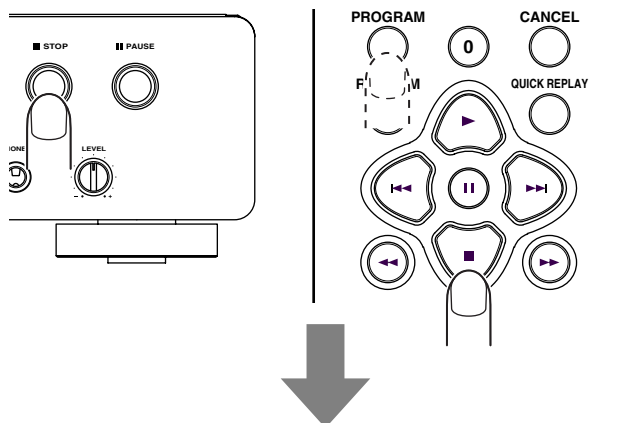
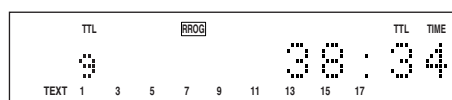
CD-TEXTディスクの場合、まずリモコンのTIMEボタンを押して、メイン表示部を時間表示にします。

1 停止中にリモコンのPROGRAMボタンを押し、続いてCANCELボタンを押します。

メイン表示部に“Delete Prog.”と一瞬表示します。

CDの総曲数と総再生時間がメイン表示部に表示され、PROGインジケーターが点滅し、デリートプログラムモードになります。

2 聴かない曲に合わせてリモコンの数字ボタンを押します（リモコンの⏮ボタンや⏭ボタン、本体の⏮/◀◀/▶▶/⏭ボタンでも曲を選択できます）。

▼表示例　2曲目を選んだとき

3 手順2を繰り返して、プログラムが終わったら本体やリモコンの■ボタンまたはリモコンのPROGRAMボタンを押します。

表示窓のPROGインジケーターが点滅から点灯に変り、デリートプログラムが確定します。
最大30曲までプログラムから削除することができます。

4 本体の▶ボタンまたはリモコンの▶ボタンを押すと、削除した曲をとばして再生します。

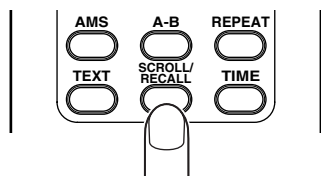
● テキスト表示でのデリートプログラム再生

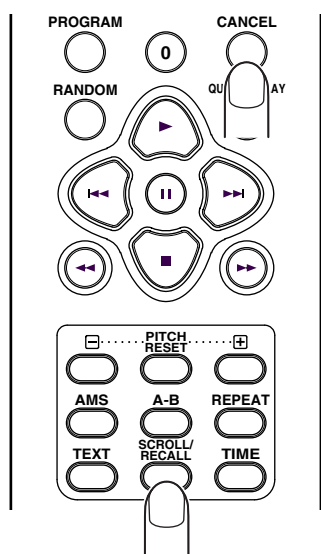
CD-TEXT ディスクの場合、曲名（タイトル）で削除する曲を選んでデリートプログラム再生することができます。

メイン表示部が時間表示になっているときはリモコンのTEXT ボタンを押し、テキスト表示にします。

1 停止中にリモコンのPROGRAM ボタンを押し、続いてCANCEL ボタンを押します。

メイン表示部に“Delete Prog.”と一瞬表示します。

CDの総曲数とアルバムタイトルがメイン表示部に表示され、PROG インジケーターが点滅し、デリートプログラムモードになります。

2 リモコンの ⏮ ／ ⏭ ボタンまたは本体の ⏮/◀◀ ／ ▶▶/⏭ ボタンで聴かない曲を選択します（リモコンの数字ボタンでも選択出来ますがその場合は曲名が表示されません）。

選択された曲の曲名（タイトル）がスクロールされ、スクロールが完了すると自動的に削除されます。削除しない場合は、スクロールが完了する前に他の曲を選びます。

3 手順2を繰り返して、プログラムが終わったら本体やリモコンの■ボタンまたはリモコンのPROGRAMボタンを押します。

表示窓のPROG インジケーターが点滅から点灯に変り、デリートプログラムが確定します。
最大30 曲までプログラムから削除することができます。

4 本体の ▶ ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押します。
削除した曲をとばして再生します。

ご注意）

※ **曲名（タイトル）のテキスト情報がない曲ではテキスト表示でのデリートプログラムはできません。**

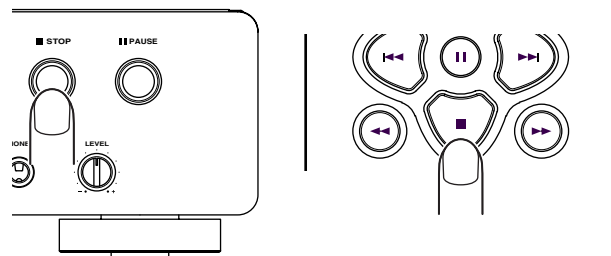
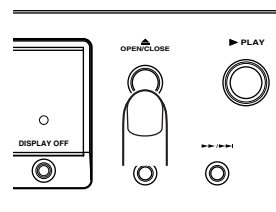
● プログラムおよびデリートプログラムの内容を確かめる

プログラム中またはプログラム再生中にリモコンのSCROLL／RECALL ボタンを押します。
プログラム再生ではプログラムした曲が順番に次々とメイン表示部に表示されます。
デリートプログラム再生では削除した曲が順番に次々とメイン表示部に表示されます。

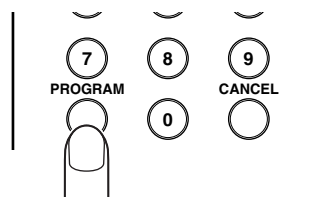
● プログラムおよびデリートプログラムの内容を変更する

プログラム再生でプログラムした曲を取り消す

プログラム中にリモコンのSCROLL/RECALLボタンを押すとプログラムした曲が順番 に次々と表示されます。
プログラムを取り消したい曲が表示されたら、すぐにリモコンのCANCELボタンを押します。取り消した曲番が表示窓のミュージックカレンダーから消えます。

デリートプログラム再生で削除した曲を取り消す

デリートプログラム中にリモコンのSCROLL/RECALLボタンを押すと削除した曲が順番に次々と表示されます。削除を取り消したい曲が表示されたら、すぐにリモコンの CANCEL ボタンを押します。
削除を取り消した曲番が表示窓のミュージックカレンダーに点灯します。

● プログラム再生を普通の再生に戻す（プログラム全体を消す）

本体またはリモコンの■ボタンを、プログラム再生中なら2回、停止中なら1回押します。表示窓のPROG インジケーターが消灯し、プログラム全体が取り消しになります。

本体の OPEN/CLOSE▲ボタンを押して、ディスクトレイを開けてもプログラムを同様に取り消せます。

プログラムの追加をする

停止中にリモコンのPROGRAMボタンを押します。表示窓のPROGインジケーターが点灯から点滅に変り、プログラムが追加できます。

● プログラム／デリートプログラム再生のご注意

※ 総曲数が 10 曲以上の CD で、数字ボタンを使って 1～9 曲目を選ぶ場合、前の曲番のボタンを押してから約1.5秒以上の時間をおいて曲番の数字ボタンを押してください。

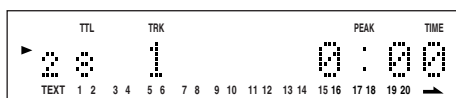
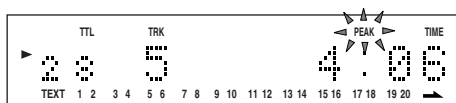
※ 総曲数が 10 曲以上の CD で、数字ボタンを使って 10 曲目以降を選ぶ場合、10の位の数字ボタンを押してから約 1.5 秒以内に 1 の位の数字ボタンを押してください。

※ ⏮／⏭ボタンでプログラムをする場合、希望の曲番が表示されるまでは0.5秒以内にボタンを押してください。

※ プログラムの全時間が 99 分以上になると時間表示は "——：——" になります。

■ 最大音量の検出（ピークサーチ）

カセットデッキで録音レベルを調整するときに、ディスクの音量の大きいところで調整すると録音時の歪やノイズを避けることができます。本機では、ディスク全体またはプログラムされた曲の音量の比較的大きい位置の検出をエディット再生の前にすることができます。

1 本体のPEAKボタンを押します。"PEAK"が点滅しディスクの１曲目からピークサーチ動作に入ります。

2 最後の曲のピークレベルサーチが終わると、音量の比較的大きい位置の前後約6秒間を繰り返し再生します。この間にカセットデッキの録音レベルを調整してください。（カセットデッキの取扱説明書を参照してください。）

3 ■ボタンを押すとピーク部分の再生を停止します。

ご注意）

※ **ディスクには音量の大きい位置が複数あるため、同じディスクでもピークサーチをするたびに、違う位置を検出することがあります。**

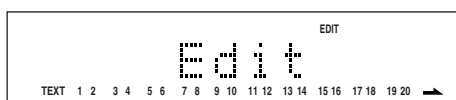
■ EDIT（エディット）

ディスクからテープに録音するときに、テープの長さに合わせてＡ･Ｂ面に曲を振り分け、頭出し用の曲間を４秒ずつとりながら演奏する便利な機能です。

● シンプルエディット

テープの長さに合わせて曲順どうりに再生します。

1 停止状態で本体のEDITボタンを押すと、エディットモードになり、ディスクの曲をＡ面、Ｂ面に振り分けます。

▼表示例　28曲入りディスクの場合

例ではテープの録音時間は90分に設定されており、Ａ面に１曲目から15曲目まで、Ｂ面に16曲目から28曲目までが振り分けられたことを示し、それぞれの面の最終曲を表示しています。

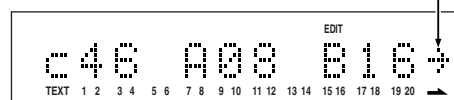
2 テープの録音時間を変えたい場合、リモコンの数字ボタン（0～9）か、►►I、I◄◄ボタンで、テープの録音時間を指定します。

● ►►I、I◄◄ボタンの場合

►►Iボタンを１回押すたびに90→46→54→60→74→90と録音時間を変更できます。
I◄◄ボタンを１回押すたびに90→74→60→54→46→90と録音時間を変更できます。
また、►►ボタンを１回押すたびに１分ずつ録音時間を増やすことができます。
◄◄ボタンを１回押すたびに１分ずつ録音時間を減らすことができます。

● 数字ボタンの場合

C46なら４、６と押します。

点滅（17曲目以降は再生されないことを表す）

録音時間が46分の場合、この例では１曲目から８曲目までがＡ面、９曲目から16曲目までがＢ面に自動的に曲が振り分けられたことを表示しています。右端の矢印により17曲目以降は演奏されないことを表示しています。

3 再び本体のEDITボタンを押しエディットの内容を確定します。

■ プログラム エディット

ディスクからテープへ録音するときに、プログラムした曲をテープの長さにあわせてA・B面に振り分けて演奏します。

1 “プログラム演奏”の“プログラム”（20ページ）を参照し、プログラムをします。

2 以下の操作は“シンプルエディット”の1～3を参照して、プログラムエディット演奏をしてください。

■ デリートプログラムエディット

ディスクからテープへ録音するときに、テープの長さにあわせて録音したくない曲を飛ばして曲順に演奏します。

1 “プログラム演奏”の“デリートプログラム”（22ページ）を参照して、デリートプログラムをします。

2 以下の操作は“シンプルエディット”の1～3を参照して、デリートプログラムエディット演奏をしてください。

ご注意）
- **シンプル、プログラム、デリートプログラムの各エディット再生中は、STOP、OPEN/CLOSE、TIME、DISPLAY OFF以外の操作はできません。**
- **EDIT中はリモコンは受け付けません（リモコンでは動作しません）。上記の本体のボタンのみ操作可能です。これは誤操作による録音ミスを防ぐためです。**
- **EDIT中はTEXT表示はしません。時間表示のみです。**

■ シンクロレコーディング（録音）

エディット再生のスタートに合わせて自動的にカセットデッキの録音をスタートさせる機能です。
本機のリモートコントロール端子とカセットデッキのリモートコントロール端子をケーブルで接続します。
カセットデッキのリバースモードは片面 ⊐、両面 ⊃、連続 ◯ を選びます。

－ マランツ製オートリバース機能付きカセットデッキとシンクロレコーディングする場合
（リバースモード：両面 ⊃ または連続 ◯ ）

1 エディットの設定が完了したあと、カセットデッキをレックポーズ（録音一時停止状態）にします。

2 ► PLAYボタンまたは ıı PAUSEボタンをを押してA面を再生します。本機から録音開始の信号が送られ、4秒後に再生が開始します。

3 A面分の曲が再生終了後はB面分の曲の最初で一時停止状態になります。

4 カセットデッキはテープのA面終了後に録音面を変更し、自動的に一時停止状態になります。

5 ► PLAYボタンまたは ıı PAUSEボタンをを押してB面を再生します。本機から録音開始の信号が送られ、4秒後に再生が開始します。

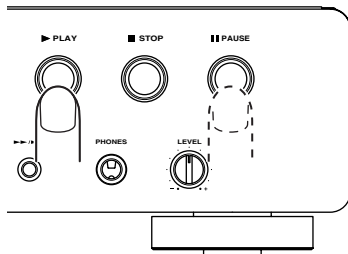
6 B面分の曲が再生終了すると停止します。エディットプログラムも自動的に消去されます。

ご注意）
- **シンクロレコーディングはマランツ製のオートリバースカセットデッキ（例SD4050等）との組合せで動作します。**
- **本機のリモートコントロール端子とカセットデッキのリモートコントロール端子を接続します。**

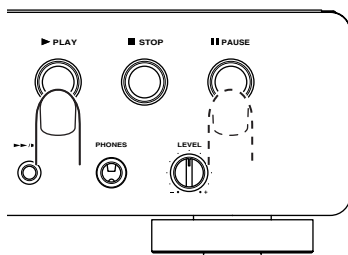
便利な機能の使いかた

ー マランツ製リバース機能なしカセットデッキまたはオートリバース機能付きカセットデッキ（リバースモード：⊏ ）とシンクロレコーディングする場合

1 エディットの設定が完了したあとカセットデッキをレックポーズ（録音一時停止状態）にします。

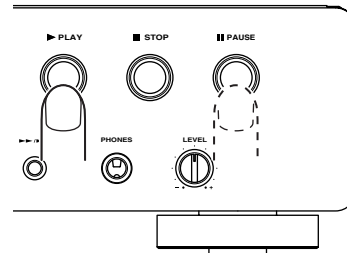
2 ► PLAY ボタンまたは II PAUSE ボタンを押して A 面を再生します。本機から録音開始の信号が送られ、4秒後に再生が開始します。

3 A 面分の曲が再生終了後は B 面分の曲の最初で一時停止状態になります。

4 テープの録音面を変更し、録音を一時停止状態にします。

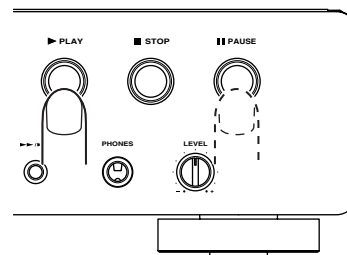
5 ► PLAY ボタンまたは II PAUSE ボタンを押して B 面を再生します。本機から録音開始の信号が送られ、4秒後に再生が開始します。

6 B面分の曲が再生終了すると停止します。エディットプログラムも自動的に消去されます。

ー 他社製カセットデッキまたはマランツ製のリモート端子を持たないカセットデッキと録音する場合

1 エディットの設定が完了したあとカセットデッキを録音開始にします。

2 ► PLAY ボタンまたは II PAUSE ボタンをを押して A 面を再生します。4 秒後に再生が開始します。

3 A 面分の曲が再生終了後は B 面分の曲の最初で一時停止状態になります。

4 テープの録音面を変更し録音を開始します。

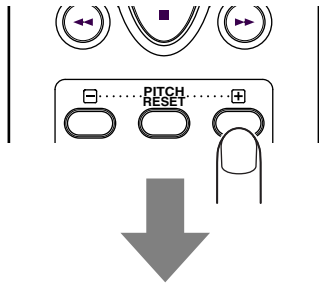
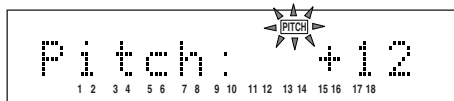
5 ► PLAY ボタンまたは II PAUSE ボタンをを押して B 面を再生します。4 秒後に再生が開始します。

6 B面分の曲が再生終了すると停止します。エディットプログラムも自動的に消去されます。

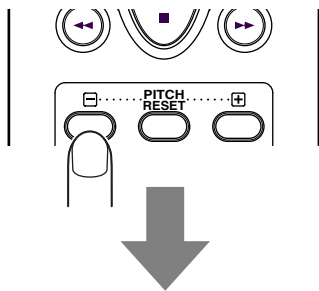
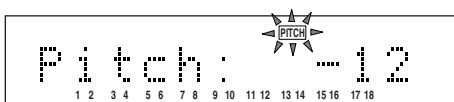
■ 再生スピードを変えて聴く（ピッチコントロール）

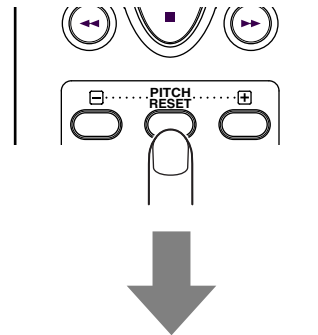
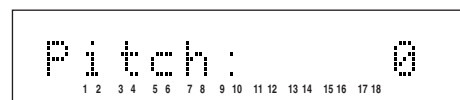
再生スピード（ピッチ）を±12段階の範囲まで変えて聴くことができます。

※ ピッチコントロール中はデジタル信号を出力しません。

● 再生スピードを早くする

リモコンのPITCH＋ボタンを押します。

ボタンを押す度に再生スピードが早くなります（最大＋12まで）。

● 再生スピードを遅くする

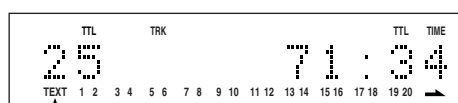
リモコンのPITCH－ボタンを押します。

ボタンを押す度に再生スピードが遅くなります（最小－12まで）。

● 再生スピードを通常に戻す

リモコンのPITCH RESETボタンを押します。

メイン表示部に"Pitch: 0"を表示します。
もう一度PITCH RESETボタンを押すと、設定していた再生スピードに戻ります。

9. その他の機能

■ CD-TEXT について

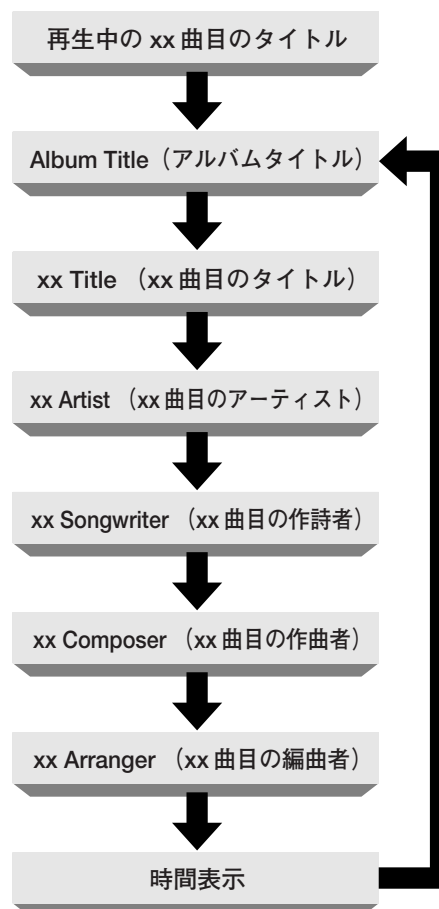
CD-TEXTとは従来の音楽CDにアルバム名、曲名などの文字情報を記録した新しいタイプの音楽ディスクです。以下のようなロゴが付いたCDが対応しています。

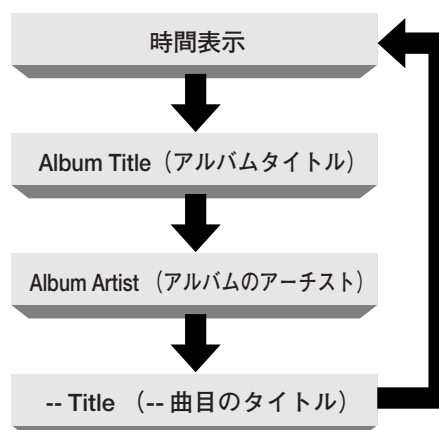
これらの文字情報は、従来の音楽CDでは使用されていなかった部分に記録されています。
従ってCD-TEXTの記録されたディスクは、既存のCDプレーヤーでは今までどうりに再生でき、本機のようなCD-TEXT対応のプレーヤーではそれらの文字情報を見ることができます。
本機ではディスクがCD-TEXT対応であるかどうかを自動的に判別して表示窓に表示します。

本体表示窓

読み込んだディスクがTEXT対応の場合に点灯

CD-TEXTディスクのTEXT情報はリモコンのTEXTボタンを押すことにより、以降の項目を順に表示させることができます。
ただし、記録されている情報はディスクにより異なりますので、全ての情報が表示されるとは限りません。本機では記録されていない項目は自動的に省略し、飛ばして表示します。

● 再生中

リモコンのTEXTボタンを押すたびに下記の順に表示します。
再生中は主に再生中の曲の情報を表示します。

● 停止状態

リモコンのTEXTボタンを押すたびに下記の順に表示します。
-- Title表示中に►ボタンを押すと、そのトラックの再生を開始します。表示文字数は最大64文字です。

10. 仕様・外観寸法図

■ 仕様

オーディオ特性

チャンネル .... 2 チャンネル
周波数特性 .... 2 Hz ～ 20 kHz
ダイナミックレンジ .... 100 dB
S/N 比 .... 110 dB
チャンネルセパレーション .... 100 dB（1 kHz）
高調波歪率 .... 0.0025 %（1 kHz）
ワウフラッター .... 水晶精度
誤り訂正方式 .... クロスインターリーブリード・ソロモンコード（CIRC）
音声出力 .... 2.0 V RMS ステレオ
ヘッドフォン出力 .... 18 mW/32 Ω（可変最大）
デジタル出力
　同軸出力（ピンジャック）........ 0.5 Vp-p 75 Ω
　光出力（角型光コネクター）........ -19dBm

光学読み取り方式

レーザー .... AlGaAs 半導体
波長 780nm

信号方式

サンプリング周波数 44.1kHz
量子化対応 .... 16 ビットリニア／チャンネル

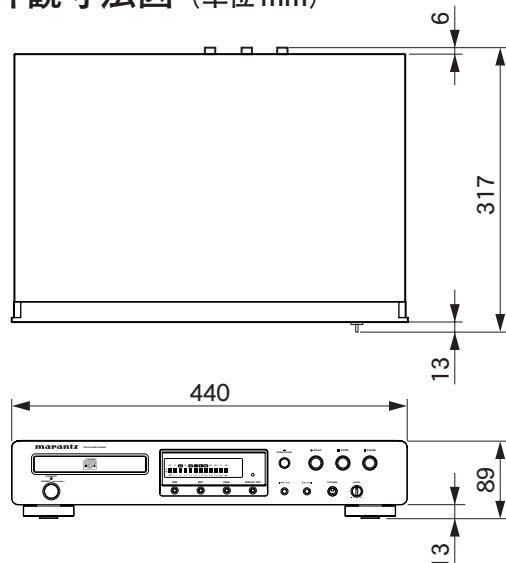
電源部

電源 .... AC 100V 50/60Hz
消費電力（電気用品安全法）........ 13 W

キャビネット・その他

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）..... 440 × 89 × 317 mm
質量 .... 3.7 kg
許容動作温度 .... ＋5℃ ～ ＋35℃
許容動作湿度 .... 5 ～ 90 %（結露のないこと）

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■ 外観寸法図（単位 mm）

11. 著作権について

- 放送や、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カセット、CDなど）、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。
- したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

12. お手入れ

- 本機が汚れた時は、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、良く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると、光沢が失われることがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんに添付の注意事項を良くお読みください。

13. ステレオ音のエチケット

- 楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。
  隣近所に迷惑が掛からないような 音量でお聞きください。
  特に静かな夜間には小さな音でも周囲には良く通るものです。
  窓を閉めるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

14. 故障とお考えになる前に

故障かな？と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われていることが あります。
下記の項目をチェックして直らない場合は、お買い上げになった販売店、お近くの日本マランツ（株）各営業所、又は当社サービスセンターにご相談ください。

ディスクが回らない

- 電源コードは正しく接続されていますか。
- 本機の電源はONになっていますか。
- ディスクが正しい位置に入っていますか。
- ディスクが裏表さかさまに入っていませんか（ディスクのレーベル面が上になっていますか）。
- ディスクに汚れがありませんか。
- ディスクに傷がついていませんか。
- ディスクが反ってませんか。

ディスクは回るが音が出ない

- アンプ・スピーカーの接続は正しいですか。
- アンプの電源はONになっていますか。
- アンプのファンクション又はセレクタースイッチが"CD"または"AUX"等（本機をあなたが接続したところ）に切替えられていますか。
- アンプのボリュームが最小になっていませんか。

ディスクが途中で回らなくなり、止まる

- ディスクが汚れていませんか。
- ディスクに傷がついていませんか。
- ディスクが反ってませんか。
- 再生しているディスクは音楽CDですか。パソコン用のCD-ROMなどは再生できません。

リモコン操作ができない

- リモコンの送信窓が、本機の受光窓に正しく向けられていますか。また、この間に何か障害物はありませんか。
- リモコンの電池が消耗していませんか。
- 本機の受光窓に他の強い光が当たっていませんか。
- 後面のREMOTE CONTROLスイッチがEXTERNAL側になっていませんか（本機を単独で使用する場合にはINTERNAL側にしてください）。

CD-R／CD-RWディスクが再生できない

- ディスクが裏表さかさまに入っていませんか。
- 記録されている情報が音楽用（CD-DA）フォーマットですか。

15. 保証・アフターサービスについて

■ 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。
   お買い上げ販売店又は当社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の当社営業所、サービスセンターに遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度”故障とお考えになる前に”をご参照の上よくお調べください。
   それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1）品名	**CDプレーヤー**
2）品番	**CD5400**
3）お買い上げ日	年　月　日
4）故障の状況	（できるだけ具体的に）
5）ご住所	
6）お名前	
7）電話番号	

marantz®

日本マランツお客様ご相談センター

〒113-0034　東京都文京区湯島 3-16-11

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30－12：00　13：00－17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

○　修理に関しましては下記サービスセンター、又は別紙営業所一覧の各営業所で承っております。

首都圏サービスセンター　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7-35-1　☎ (042) 748-0762

大阪サービスセンター　〒564-0053　大阪府吹田市江の木町2-31　☎ (06) 6337-6699

日本マランツ株式会社

本社　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7-35-1

国内営業部　〒113-0034　東京都文京区湯島 3-16-11

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.co.jp

Printed in China　2003/03　MITs　24AW851110